一級河川 梯川水系 梯川改修事業

梯　川　分　水　路

～小松天満宮を核とした個性豊かな歴史・文化のまちづくり～

梯川河川改修の一環で整備してきました天神町地区の分水路方式による改修事業が計画策定から21年を経て、ついに分水路が完成しました。

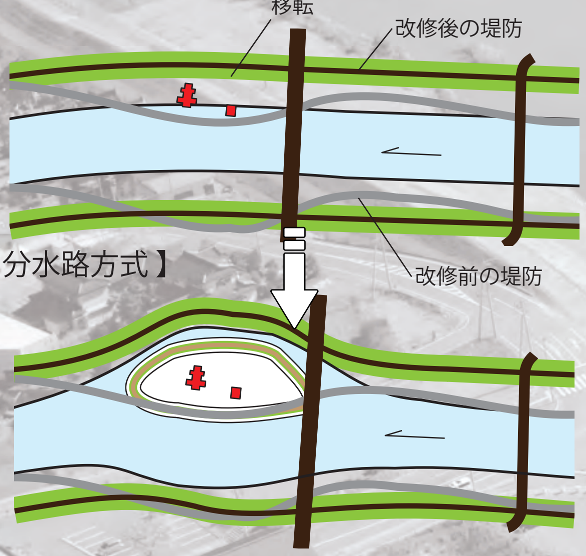
国指定重要文化財を浮島方式により現位置を保全した河川改修は大変珍しく、地域のシンボルとして期待されています。

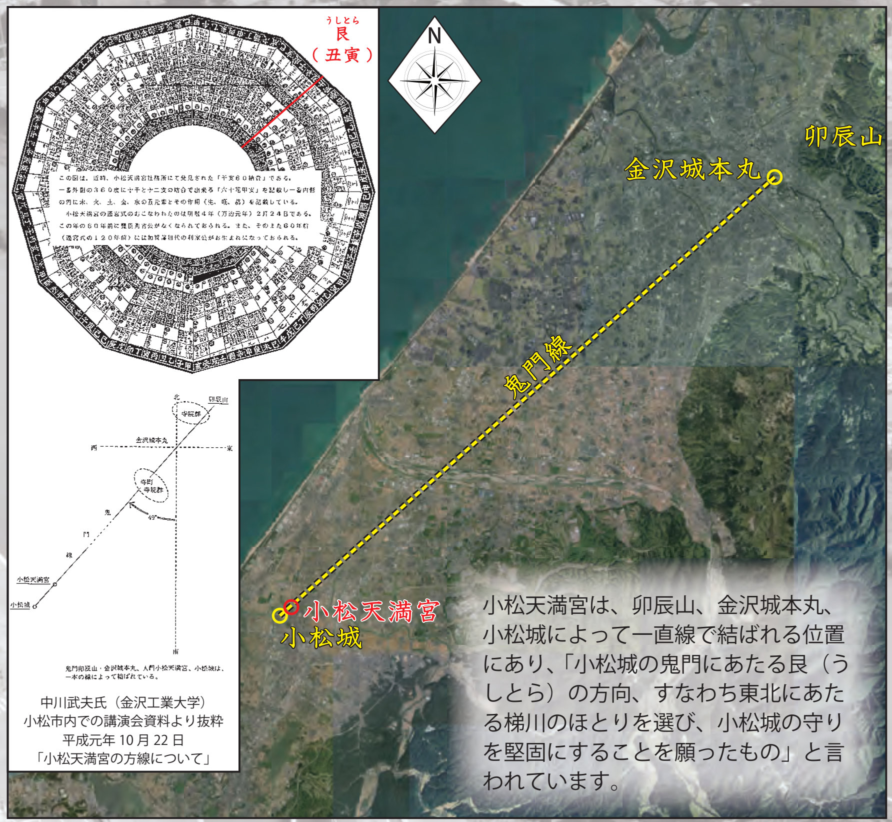
THINK RIVER

重要文化財の保全と河川改修

梯川は、昭和46年に一級河川に指定され、洪水を安全に流下させるために80mから120mに川幅を拡幅する計画が策定されました。

梯川の河川改修計画に合わせて、小松天満宮神門および本殿の移転が必要となりました。しかし、小松天満宮は、国の重要文化財に指定されており、小松市の歴史的・文化的シンボルであることから、現位置で保全する「分水路方式」が採用されました。

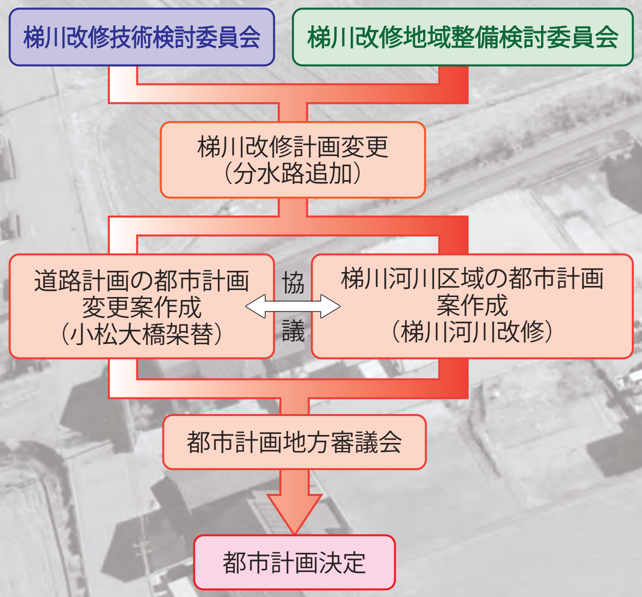




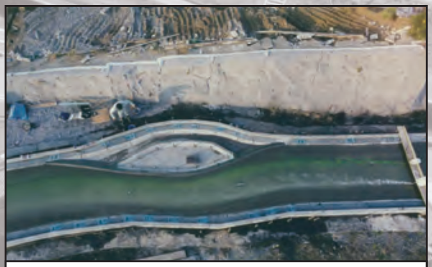
梯川分水路計画策定の流れ

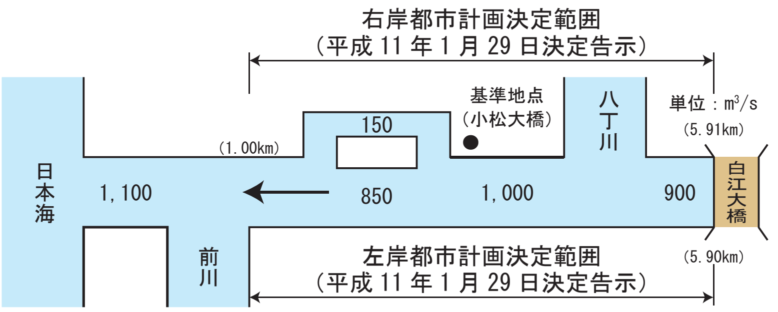
梯川分水路は、分水路方式について水理模型実験などを行い、梯川改修技術検討委員会により、技術的に可能であることが確認されました。さらに、梯川改修地域整備検討委員会では、国（河川）、県（道路）、市（まちづくり）の各機関が連携し、河川整備の方式や小松大橋の位置、個性豊かなまちづくりなどが議論され、「小松天満宮を核とした個性豊かな歴史・文化のまちづくり、川づくり、道づくり」をメインテーマとした整備内容が決定しました。

各委員会の結果を踏まえて、河川改修計画改定により平成8年に分水路計画が追加され、平成11年に分水路を含む河川区域の都市計画が知事決定されました。

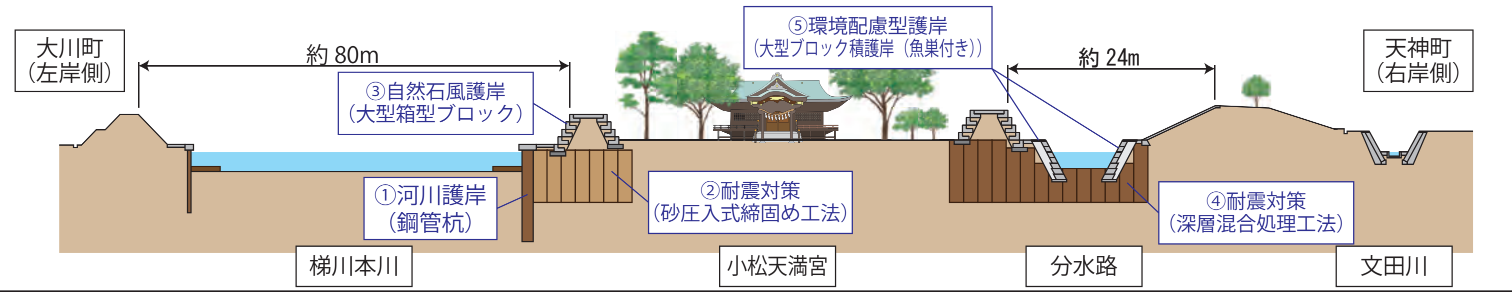


梯川改修技術検討委員会の様子


梯川分水路の水理模型実験



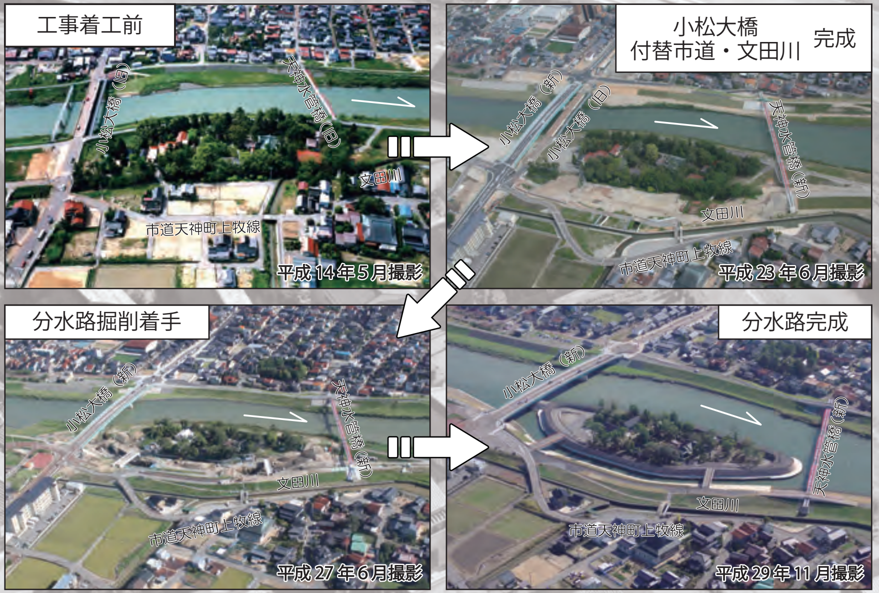
梯川分水路 工事概要



梯川分水路ができるまで

梯川河川改修の一環で整備してきました天神町地区の分水路方式による改修事業が、計画策定から21年を経て、平成29年11月に完成しました。

国指定重要文化財を浮島方式により現位置に保全した河川改修は大変珍しく、地域のシンボルとして期待されています。



昭和３４年８月	台風７号による洪水（本川・支川堤防決壊）
昭和４３年８月	台風１０号による洪水（支川堤防決壊）
昭和４６年	梯川一級河川指定
昭和４９年	梯川改修計画策定
平成８年５月	直轄河川改修計画改定
平成１１年１月	都市計画決定
平成１２年	分水路関連用地買収着手
平成１８年	小松大橋架替着手
平成２０年６月	梯川水系河川整備基本方針策定
平成２３年３月	小松大橋架替工事完了　供用開始
平成２７年３月	大川やわらぎ街道まちづくり完成
平成２８年３月	梯川水系河川整備計画策定
平成２８年１１月	梯川分水路通水
平成２９年１１月	梯川分水路完成

お持ちの携帯電話で下記のQRコードから「梯川分水路の動画」を見ることができます。ぜひご覧ください。

梯川分水路の概要（約２分50秒）

梯川分水路について（約１分20秒）

水害の歴史

平成 16 年出水では小松市に避難勧告（2,237 世帯）、平成 18 年出水では避難準備情報が２回（2,726 世帯）発令されました。平成 25 年出水では小松市、能美市に避難勧告（6,210 世帯）、避難指示（4,624 世帯）が発令されるなど、近年においても氾濫の危険性が非常に高い河川となっています。

昭和 43 年８月出水

白江大橋付近

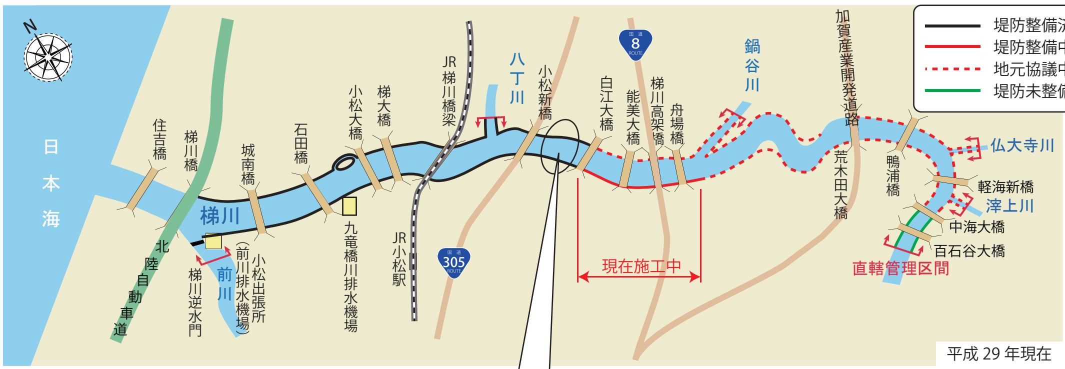
平成 25 年７月出水

鴨浦橋下流（埴田水位観測所）

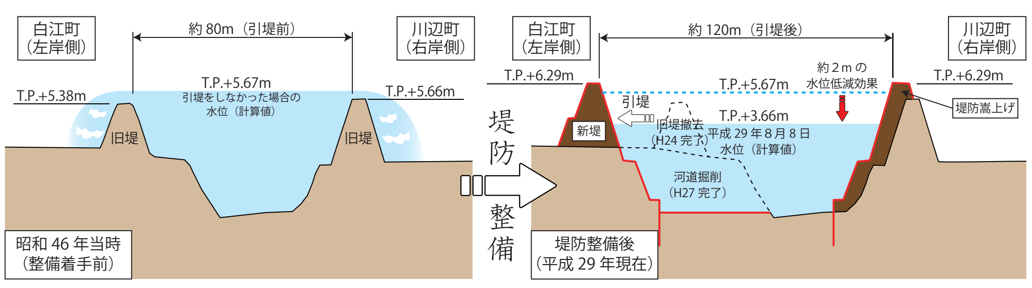
発生年月日	発生要因	小松大橋地点流量	被災状況
昭和８年７月25日	台風	1,690m³/s（推定）	本川１か所、支川２か所で堤防決壊 浸水家屋1,549戸、橋梁流出32橋
昭和９年７月11日	梅雨前線	1,100m³/s	支川等で堤防決壊 浸水家屋188戸、橋梁流出26橋
昭和34年８月14日	台風７号	1,390m³/s	本川１か所、支川４か所で堤防決壊 浸水家屋390戸、橋梁流出９橋
昭和43年８月28日	秋雨前線	970m³/s	支川３か所で堤防決壊 浸水家屋100戸以上
昭和56年７月１日	梅雨前線	630m³/s	高水敷の決壊（５か所：約680m） 内水被害
平成10年９月22日	台風７号	710m³/s	浸水面積19.9ha（内水） 河岸の一部崩壊等３か所
平成16年10月20日	台風23号	590m³/s	浸水面積238.1ha（内水） 護岸破損等４か所 小松市：避難勧告発令（2,273世帯）
平成18年７月17日	梅雨前線	630m³/s	浸水面積108.0ha（内水） 護岸破損等15か所 小松市：避難準備情報発令（2,726世帯）
平成25年７月29日	梅雨前線	760m³/s	観測史上最高水位5.23mを記録（埴田水位観測所） 浸水面積177.0ha（内水） 堤防破損等４か所 小松市内：避難指示発令（4,484世帯）
平成29年８月８日	台風５号	調査中（H29.11時点）	浸水面積35.5ha（内水） 小松市：避難勧告発令（4,741世帯）

河川整備事業による効果

梯川の整備は昭和 46 年から進めていますが、赤瀬ダムの整備および河川整備着手前の河道で今回の洪水（H29.8.8出水）を受けた場合、水位は約２m 高くなっていた可能性があり、堤防はより危険な状態であったものと考えられます。また、白江大橋下流区間の堤防嵩上げ・引堤および河道掘削を行っていなかった場合、洪水は堤防から越水していた可能性がありました。



平成 29 年現在



H29.8.8 出水において分水路暫定通水を実施

平成 24 年に完成した小松新橋～白江大橋間の堤防整備

平成 29 年６月撮影

お問い合わせ先

国土交通省　北陸地方整備局
金沢河川国道事務所

○金沢河川国道事務所
〒920-8648　金沢市西念４丁目 23 番５号　TEL(076)264-8800　（代表）
○小松流域治水出張所
〒923-0002　小松市小島町ヲ 27-２　TEL(0761)23-4000
受付時間：土日祝日を除く 9:00 ～ 17:00